

オルミエントを服用されている方へ

オルミエントの服用方法

<関節リウマチ、アトピー性皮膚炎(成人)、円形脱毛症の方>

通常、1日1回4mgを毎日服用します。あなたの状態によっては、半分量の2mgが処方される場合もあります。

<アトピー性皮膚炎(小児)、多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎の方>

通常、2歳以上で体重30kg以上の方は1日1回4mgを毎日、体重30kg未満の方は1日1回2mgを毎日服用します。

あなたの状態によっては、半分量の2mgまたは1mgが処方される場合もあります。

いずれの場合も、必ず主治医の指示にしたがって服用してください。

腎臓が悪い方や高齢の方は、副作用が強くあらわれることがあるので、ご注意ください。

また小児の方は、錠剤の服用が可能な場合にのみ服用してください。

オルミエントを服用する前に確認すべきこと

以下に該当する人は、主治医、看護師または薬剤師に相談してください。

- ・過去にオルミエント錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・感染症の人または感染症が疑われる人
- ・結核にかかったことのある人、または結核にかかっている人
- ・腎臓や肝臓が悪い人
- ・血液検査値の異常がある人
- ・腸管憩室(腸に袋状のくぼみができた状態)がある人
- ・間質性肺炎になったことがある人
- ・静脈血栓塞栓症(例えばエコノミークラス症候群)のリスクがある人


妊婦または妊娠している可能性がある方、授乳している方

妊婦または妊娠している可能性がある方は服用することができません。妊娠可能な方は、オルミエントを服用している間および服用終了後少なくとも1月経周期は、適切な避妊を行ってください。なお、オルミエントを服用している間は、授乳しないことが望ましいです。

オルミエント服用中に気をつけること

服用中に注意が必要な症状

オルミエントが効果を発揮し、副作用のリスクを最小限にするためには、副作用の症状にできるだけ早く気づくことが大切です。以下の症状に続き、重い副作用があらわれる可能性があります。症状に気づいたら服用をやめ、すぐに主治医、看護師または薬剤師に相談してください。

 咳	 発熱	 のどの痛み	 寒気	 痛みを伴う発疹 <small>たいじょうほうしん</small> (帯状疱疹)
顔色が悪い	だるさ	<small>どうき</small> 動悸	激しい腹痛	発疹
めまい	皮膚の赤み・腫れ	頭が重い	息切れ	食欲の低下

オルミエントと一緒に服用するときに注意が必要なお薬

痛風(高尿酸血症)の治療薬(プロベネシド)を服用している患者さんでは、オルミエントの作用が強くなることがあります。必ず、主治医または薬剤師にお伝えください。
また、何らかの予防接種を行う場合には主治医、看護師または薬剤師に必ずご相談ください。


安全性について

オルミエントによって、副作用があらわれる可能性があります。副作用は、できるだけ早く気づいて対処することが大切です。少しでも「おかしい」と感じるがあったら、できるだけ早く主治医、看護師または薬剤師にご相談ください。

他の医療機関を受診する場合

他の医療機関を受診する場合には、オルミエントを服用していることを、主治医、看護師または薬剤師にお伝えください。

オルミエントは、関節リウマチ、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症および多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎などの治療薬として使用可能な薬剤です。オルミエント服用時に注意してほしい事象は、いずれの疾患においても注意すべき事象です。

	注意すべき事象	注意すべき症状
感染症	<p>オルミエントの服用中は免疫の働きが低下し、感染症にかかりやすくなる可能性があります。また、感染症にかかったときにみられる発熱や体のだるさなどの症状があらわれにくくなるかもしれません。感染症を防ぐために、日ごろから手洗いやうがいなどを心がけましょう。感染予防のためのインフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種については主治医と相談してみましょう。</p> <p>アトピー性皮膚炎患者さんにおいては、皮膚の感染症にもご注意ください。皮膚の一部が赤みを帯びる、腫れる、熱・痛みを持つなどの症状に気づいたら、すぐに主治医、看護師または薬剤師にご相談ください。</p> <p>軽い風邪のような症状であっても、急に悪化することがあります。症状に気づいたら、すぐに主治医、看護師または薬剤師に連絡してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱、咳、のどの痛み、寒気など風邪のような症状 (例えば、結核の場合は咳などの風邪に似た症状があらわれます) ・皮膚が熱っぽい ・皮膚の腫れ、痛み、赤み など
<small>たいじょうほうしん</small> 帯状疱疹	<p>帯状疱疹は、痛みを伴う赤い発疹(ぶつぶつ)や水ぶくれを主な症状とする病気です。最初に数日～1週間程度、皮膚の内側からチクチク・ピリピリした痛み*が続いた後、同じ場所に発疹があらわれます。症状が進行すると、多くは体の左右どちらか片側に発疹が帯状に広がっていき、やがて発疹は水ぶくれへと変化していきます。</p> <p>症状に気づいたら、すぐに主治医、看護師または薬剤師にご相談ください。</p> <p>*痛みの感じ方には個人差があり、痛みではなくかゆみとを感じる場合があります。</p> <p>ほとんどは適切な治療によって回復しますが、治療の開始が遅れた場合には後遺症として痛みやしびれ、発疹のあとが残ることがあるので、早めの治療が大切です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みを伴う赤い発疹、水ぶくれ ・微熱 など <p>帯状疱疹は、多くは体の左右どちらか片側に帯状に発疹があらわれます。また、顔を含む頭部や足に発症することもあります^{注)}。</p> <p>注) 発症部位は胸から背中にかけてが最も多く、患者さんの半数以上が上半身に発症します。</p> 
肝機能障害	<p>体のだるさ、食欲の低下、発熱、黄疸<small>おうだん</small>(皮膚や白目が黄色くなる)などの症状がみられることがあります。少数ではありますが、関節リウマチの患者さんが服用した事例で、B型肝炎ウイルスの再活性化も報告されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・だるさ ・食欲の低下 ・発熱 ・皮膚や白目が黄色くなる など
血液検査値の異常	<p>貧血の症状(めまい、ふらつき など)がみられることがあります。コレステロールの値や、白血球・血小板・好中球・リンパ球の数、ヘモグロビンの値、クレアチンホスホキナーゼ(CPK)の値などに異常がみられることがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・めまい、ふらつき など
<small>じょうみやくけっせんそくせんしやう</small> 静脈血栓塞栓症	<p>静脈血栓塞栓症とは、主に足の静脈に血栓(血の塊)ができること。またその血栓が血流によって肺の動脈を詰まらせる状態になることです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくらはぎの色の变化、痛み、腫れ ・急な息苦しさ ・胸苦しさ など
<small>かんしつせいはいえん</small> 間質性肺炎	<p>間質性肺炎とは、肺の中で酸素を取り込む肺胞<small>はいほう</small>の壁やその周辺に炎症が起きて、酸素がうまく取り込めなくなる状態です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱<small>からせき</small> ・空咳(たんを伴わない咳) ・息切れ など
<small>せんこう</small> 消化管穿孔	<p>消化管穿孔とは、何らかの原因により胃や腸に穴があいてしまった状態です。消化管穿孔に至る前に、胃の痛みなどの症状があらわれることがあります。憩室炎<small>けいしつえん</small>(大腸の一部が袋状に突出し、炎症を起こした状態)を指摘されたことがある場合は、消化管穿孔を起こしやすいと考えられていますので、必ず主治医、看護師または薬剤師にお伝えください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・激しい腹痛 ・胃の痛み ・黒色便 ・突然起こり、その後持続する腹痛 ・空腹時のみぞおちの痛み など
<small>おうちんきんゆうかいしやう</small> 横紋筋融解症・ミオパチー	<p>臨床試験において、筋肉の障害がみられた例が報告されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筋肉痛 ・手足がしびれる ・だるさ など
<small>こうそく</small> 心筋梗塞、脳卒中など	<p>臨床試験において、心筋梗塞、脳卒中がみられた例が報告されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・胸の痛み ・しびれ ・めまい ・ろれつが回らない など
<small>しゅよう</small> 悪性腫瘍	<p>オルミエントとの因果関係は明らかではありませんが、臨床試験において、悪性腫瘍がみられた例が報告されています。</p>	<p>(例えば、だるさや痛みなど悪性腫瘍の種類、重症度に応じて様々な症状があらわれます)</p>

Lilly

<作成>

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通5丁目1番28号

PP-BA-JP-9107 2024年3月作成

Lilly Answers

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口 リリーアンサーズ

0120-245-970^{※1} (一般の方・患者様向け)

〈当社製品に関するお問合せ〉

●受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30^{※2}

上記時間外は音声ガイダンスにて対応しています

※1 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。尚、IP電話からはフリーダイヤルをご利用できない場合があります。

※2 祝祭日及び当社休日を除きます